

税金と水道工事

学校法人武南学園武南中学校 1年 吉田 恵奈

今年の夏もとにかく暑いです。中学校からの帰り道、この酷暑の中、道路工事が行われていました。看板を見ると「水道管を新しくしています」と書いてあります。水道管、という言葉を読んで私はある事故のことを思い出しました。今年一月に起きた八潮市の道路陥没事故です。

大きく穴があいた道路をニュースで見て、「道路って壊れるんだ」ととても驚きました。そしてたまたまそこを通っていた車の運転手さんが行方不明になってしまって、自分にも起こるかもしれない、と考えたら本当に怖いと思いました。そしてこの陥没事故の原因が下水道管が古くなってしまったことだというのを思い出したので、水道について調べてみることにしました。

今私たちが使っている水道管は一九五五年頃から七三年頃までの高度経済成長期に作られたものが多く、古くなってしまっていたり、地震に耐えられなかったりするので少しずつ取り替える必要があることがわかりました。水道に関わることは市民が払っている水道料金を使うので税金は使われていませんが、国土交通省の令和七年度の予算を見てみると、「水道施設設備費・下水道事業費等」として一三八三億円が計上されており、税金が補助金として使われることがわかりました。私が住んでいる川口市内の水道管の長さは約千四百キロメートルでした。母に実際どのくらいの距離か聞いてみると東京から鹿児島までの高速道路と同じくらいの長さだということで、想像よりも長くてとても驚きました。川口市だけでこんなに長い水道管があるのに、日本全国では一体どれくらいの長さになるのでしょうか。そしてそれを四十年ごとに工事して新しくするとは、気の遠くなる話だと思いました。

次の日に同じ道路を通ると、工事した部分が少し盛り上がってました。しかし夏休みが終わってまたその道を通ってみると、ピカピカの真新しい道路に生まれ変わっていて、自転車で通るのが気持ちよかったです。この暑さの中、一生懸命工事をしてくださった方のおかげで私たちが安心して水道を使うことができるので、感謝しなければならないな、と思いました。そして水道管を新しくして、こんなに滑らかな道路を作ってしまう日本の技術はすごいな、とも思いました。

蛇口をひねればいつでもきれいな水が出てくる。トイレでもたくさんの水が流れきれいにしてくれる。それが当たり前だと思っていましたが、決してそうではありません。みんなの水道はみんなの税金で作られています。そしてこれからもずっと当たり前にきれいな水が使えるように、きちんとメンテナンスして維持していかなければなりません。大切な税金がきちんと使われていることを実感した工事でした。